

東京イラストレーターズ・ソサエティのメンバーが描く

# わたしの句読点 2

## 〈食いろいろ〉

2012年5月19日（土）～7月1日（日）

たばこと塩の博物館（東京渋谷・公園通り）

たばこと塩の博物館（東京渋谷・公園通り）では、2012年5月19日（土）から7月1日（日）まで、東京イラストレーターズ・ソサエティのメンバーが描く「わたしの句読点2 〈食いろいろ〉」を開催します。

本展は、日本を代表するイラストレーターたちが数多く所属する東京イラストレーターズ・ソサエティ（略称 TIS）とたばこと塩の博物館のコラボレーション企画第2弾です。2009年に開催した「わたしの句読点」では、「たばこ」をはじめ、酒、コーヒーなどの「嗜好品」をテーマに展開し、大好評を得ました。

今回開催する「わたしの句読点2 〈食いろいろ〉」では、たばこと塩の博物館のもうひとつの柱である「塩」に着目して、「食」をテーマにしました。このテーマに総勢171名のイラストレーターたちが参加します。

作品の大きさは、画面サイズで30cm角という決まりはありますが、「食」というお題をどう料理するかはイラストレーターの腕次第です。〈料理そのもの、食材、食べる人・・・〉など、「食」といっても、解釈は実にさまざまです。また、すべての作品にはイラストレーター自身のコメントが付いていて、それぞれの作品、そして「食」への思いをより伝えるものとなっています。なお、171名の作品は、すべてこの展覧会のために制作されたものです。

- ◆「展示関連トークショー」などのイベントについては別紙1をご覧ください。
- ◆「TISについて」と「出品作家一覧」は別紙2を、「出品作品の紹介」は別紙3をご覧ください。
- ◆和田誠氏による「わたしの句読点2によせて」と会員に向けた本展覧会への募集ちらしは、別紙4にあります。

### 展覧会開催概要

名称	東京イラストレーターズ・ソサエティのメンバーが描く「わたしの句読点2 〈食いろいろ〉」
会期	2012年5月19日（土）～7月1日（日）
会場	たばこと塩の博物館 4階特別展示室
開館時間	午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
所在地	東京都渋谷区神南 1-16-8（渋谷駅から徒歩10分。公園通り）
主催	たばこと塩の博物館 東京イラストレーターズ・ソサエティ
入館料	大人・大学生 100円（50円） 小・中・高校生 50円（20円） ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※満70歳以上は入館料無料（要証明書）
休館日	月曜日



ご質問、画像データのご希望などございましたら、お気軽に広報担当までお問い合わせください。

お問い合わせ先：たばこと塩の博物館 広報担当：裊地（ほろち）由美子  
E-mail：horochi@tsmuseum.jp  
〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-16-8  
TEL：(03) 3476-2041 FAX：(03) 3476-5692  
<http://www.jti.co.jp/Culture/museum/>

**【展示関連トークショー】※事前申し込み制**

6月9日(土)

古今亭志ん輔×下谷二助 \*当日は古今亭志ん輔師匠による落語が一席あります。

6月23日(土)

三谷幸喜×和田誠 \*当日は「王様のレストラン」(1995年フジテレビ)第5話の上映があります。

6月30日(土)

南伸坊×峰岸達×和田誠

**[トークショーの申し込み方法]**

往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号・希望人数(1名か2名)・ご希望のイベントいずれか1つを明記し、返信用はがきに郵便番号・住所・氏名をご記入の上、下記までご応募ください。はがき一通につき、1イベントの応募とさせていただきます。

◆送り先：〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-16-8

「たばこと塩の博物館〈食いろいろ〉展イベント係」宛

◆締切：2012年5月28日(月)必着

※応募多数の場合は抽選となります。結果は返信用はがきでお知らせします。

※参加料無料、ただし当日の入館料は必要です。

※トークショーはすべて午後2時から1階視聴覚ホールにて開催します。

**【文化映画上映】※当日先着順**

「注文の多い料理店」(原作：宮沢賢治) アニメーション作品 カラー19分

※2012年5月8日(火)～7月1日(日)のイベントのある日(6/9、6/23、6/30)を除く、土・日曜日に上映。

※午後2時30分から1階視聴覚ホールにて上映。

※観覧料無料(ただし入館料は必要です)。

※定員は、先着80名。

(\*映画上映は、都合により、中止またはスケジュール変更の場合があります。)

## 【東京イラストレーターズ・ソサエティについて】

東京イラストレーターズ・ソサエティ（略称TIS）は、1988年10月に発足しました。イラストレーター同士の情報交換や親睦にとどまらず、その存在や仕事ぶりを、社会に向けて発信していくために力を合わせようとしたのが結束のきっかけです。2012年5月現在の会員数は218名。イラストレーションのさらなる可能性を模索し、発展を目指すために、展覧会の開催、後進の育成を目的とした公募や、出版、研究会等積極的に活動を行っています。

## 【「わたしの句読点2〈食いろいろ〉」出品作家一覧】

秋山 育	北田哲也	ソリマチアキラ	平澤一平
秋山 孝	北谷しげひさ	高氏雅昭	平松尚樹
浅賀行雄	北見 隆	高橋キンタロー	廣中 薫
あずみ虫	北村 治	高部晴市	ヒロミチイト
阿部隆夫	木村桂子	田嶋 健	福井真一
あべ弘士	国井 節	田島征三	藤枝リュウジ
網中いづる	久保周史	田尻真弓	フジモト・ヒデト
新井苑子	くまあやこ	田代 卓	舟橋全二
新目 恵	久村香織	多田景子	古川タク
安西水丸	黒鉄ヒロシ	建石修志	ほししんいち
飯田 淳	桑原伸之	谷口広樹	松尾たいこ
飯野和好	KUNTA	谷山彩子	松本孝志
いしかわこうじ	小池アミイゴ	タムラフキコ	真鍋太郎
石丸千里	五辻みつる	タラジロウ	丸山誠司
石山好宏	小寺茂樹	丹下京子	みずうちさとみ
板垣しゅん	ごとうえみこ	チカツタケオ	水上多摩江
井筒啓之	ゴトウヒロシ	土谷尚武	水口理恵子
井筒りつこ	古村耀子	都築 潤	南 伸坊
伊藤彰剛	斎藤雅緒	寺田順三	峰岸 達
いとう 瞳	斉藤美奈子ポツフォード	天明幸子	村井和章
伊野孝行	サイトウユウスケ	唐仁原教久	村田善子
上田三根子	さか井美ゆき	とどろきちづこ	本 秀康
ウエノ★アモーレ★ヒロスケ	阪口笑子	内藤貞夫	本村加代子
宇野亜喜良	さかたしげゆき	中澤由美子	森 英二郎
大久保厚子	坂本富志雄	長友啓典	森 真人
大竹雄介	佐々木悟郎	ナガノホナミ	矢吹申彦
大西洋介	ささめやゆき	中村幸子	山口はるみ
大森せい子	佐藤邦雄	中山尚子	山口マオ
小川かなこ	佐藤直行	中山 泰	山口マサル
音部訓子	信濃八太郎	灘本唯人	山崎綾子
小野利明	篠崎三朗	西 のぼる	山崎杉夫
小野トモコ	下田一貴	二宮由希子	山崎のぶこ
海谷泰水	下谷二助	ネモト円筆	山下以登
影山 徹	下村 勝	野田あい	ペドロ山下
風間史朗	城芽ハヤト	野村俊夫	ユムラタラ
加藤裕将	白肌 4	野村美也子	吉實 恵
川上和生	杉浦範茂	長谷川博紀	蓬田やすひろ
河下智美	杉田圭司	長谷川義史	若尾真一郎
川村 易	鈴木英人	花井正子	若林 夏
川村みづえ	赤 勘兵衛	花くまゆうさく	和田 誠
管野研一	マー関口	羽山 恵	渡辺浮美生
木内達朗	宗 誠二郎	原子高志	渡辺リリコ
きたざわけんじ	添田あき	日端奈奈子	

TIS のイラストレーター171 名が出品する今回の企画。  
ここでは、6 名のイラストレーターの作品と本人によるコメントをご紹介します。



### 網中いづる「デコレーションケーキ」

旅先でお菓子屋さんやケーキ店のショーウィンドウをのぞくのが好きです。色とりどりのマカロンやデコレーションされたケーキの可愛らしさにうっとりします。ピンクのリボンがかけられたまるいケーキは、子どもの頃に遊んだメリーゴーランドのようでした。



### 飯野和好「発酵へのいざない」

なめ味噌を作り、醤油を作り、つけものを漬け、納豆をかきまぜ、黄色い麴が花開いて、稲、麦、藁の香りは強く、土間には豊潤な生きものの気配が漂っていた。こどもの頃、生家の庭芝の筵の上に、それらを作るための山盛りの塩が大きな味覚の源になっている私は、飯を喰う時、酒を呑む時、よくその雪のような塩を想い出す。



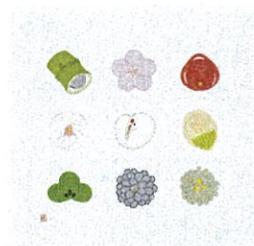
### 谷山彩子「明日もやって来る今日のために」

あ、タマネギをバターで炒めてる(ハンバーグかな?)。こちらはカレー(カレーもそろそろ食べたいな)。おお! にんにくバター醤油で牛肉が焼かれている(なにかいいことあったのかな)。さあ、早く帰ってごはんを作ろう。おいしいお酒とおいしいごはん、今日の一日を終わらせよう。その前にまずは猫にごはんだ!



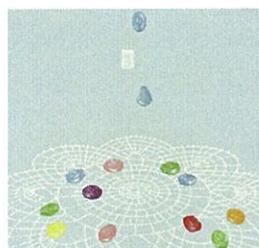
### チカツタケオ「東京御三家、明治・大正・昭和。」

今ではカレーやクリーム、お好み焼きなど味も見かけもさまざまな種類がある“たいやき”。いろいろ調べてみると1匹ずつ焼くのは「天然物」、まとめて焼くのは「養殖物」と呼ばれているようだし、たいやきの魚拓本まで出ているのにはビックリ。御三家と呼ばれる老舗のたいやき屋さんがあるので、どんなものかと調べてみると、創業はそれぞれ明治、大正、昭和。これは買って、観て、味わって、描いてみない訳にはいかない。



### みずうちさとみ「和菓子いろいろ」

おいしくて、見た目も美しい和菓子は見るだけで心が踊ります。四季をとり入れ、繊細なその手仕事に日本の心を感じます。



### 水口理恵子「ドロップス」

サクマのドロップスを偏愛する3歳児がいるため、家には缶入りサクマドロップスが常備されています。お菓子売り場に行くと、このドロップスをはじめ、マーブルチョコや不二家のポップキャンディなど、私の子どもの頃からあるお菓子がまだまだ数多く置いてあるのが嬉しいです。

## わたしの句読点2について

私たち TIS メンバーが「たばこと塩の博物館」のご好意で展覧会を開くのは2回目になります。前回のタイトルは「わたしの句読点」でした。展覧会委員を担当したキャッチフレーズ「たばこは生活の句読点」というのを思い出して、「句読点」という言葉を使ったのでした。

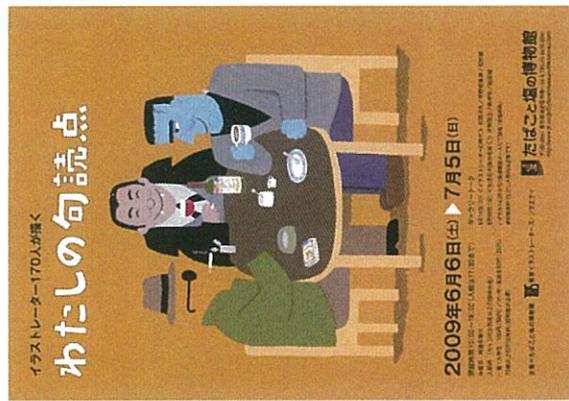
さらに「たばこと塩の博物館」での展示のだから「たばこ」をテーマにしよう、という意見を出したのですが、学芸員の鎮目さんから「たばこだけでなく、お酒やコーヒーを含む嗜好品も一緒に」という提案があってその案をいただき、メンバーそれぞれが思い思いの嗜好品を描く、ということで話がまとまって、「わたしの句読点」と題する展覧会が開かれたわけですね。

そして今年。前回は「たばこ」を含む嗜好品でしたから、今回は「たばこと塩の博物館」にとってもうひとつ大切な「塩」はどうだろう、ということになりました。しかし、塩だけでイラストレーションを描くのはむずかしいです。そこで、塩と密接な関係にある料理、もうひとつ枠を広げて「食」全般で話がまとまりました。

そうなる料理そのもの、食材、料理を作る人、それを運ぶ人、それを食べる人、調理用具、さらに食べるシーンがある物語や映画、などテーマが広がって楽しそうです。

TISのメンバー一同、張り切って「食」のイラストレーションに挑みます。どうぞ楽しんで「わたしの句読点2〈食いろいろ〉」をご覧ください。

和田誠



イラストレーション・デザイン 和田誠



イラストレーション 長谷川義史 デザイン 和田誠

## TIS 会員のみなさま

2009年に「たばこと塩の博物館」で開かれたTIS展「わたしの句読点」は入場者も多く、女子評だったので

「来年5月にまたやりませんか」と声をかけていただきました。開催は理事会で承認され、展覧会委員も決まり、テーマの検討も済ませました。前回は「たばこ」をはじめ、酒、コーヒーなどの嗜好品が

テーマでした。今回は博物館のもうひとつの核である「塩」に注目して「食」がテーマです。「食」だけでは漠然としていますが、

- ☆ 料理そのもの
  - ☆ 食材
  - ☆ 料理する人
  - ☆ 料理を運ぶ人
  - ☆ 食べる人
  - ☆ 料理が出てくる物語、歌、映画など
  - ☆ ETC (調理用具など)
- と、広くお考えください。

タイトルは「東京イラストレーターズ・ソサエティのメンバーが描くわたしの句読点2〈食いろいろ〉」

締切： 2012年3月1日(木) までに「たばこと塩の博物館」に納入。

サイズ： 容積のサイズは40cm角ですが、マットが未定なので、決まり次第お知らせします。

会期： 2012年5月19日(土) → 7月1日(日)

参加・不参加のご返事は別紙に。 12月22日(木)までにお願いします。

展覧会委員： あずみ虫・南伸坊・山崎崇彦・和田誠(委員長)

たばこと塩の博物館側の担当者は和回と同じ学芸員の鎮目さんです。